

富良野市水道ビジョン（案）【概要版】

①水道ビジョン策定の趣旨と位置づけ

◆策定の趣旨

安全で安心な水道水を将来にわたり安定して供給するため、今後の方向性を示す指針として策定する。

◆ビジョンの位置づけ、計画期間及び推進

本ビジョンは、市の総合計画基本構想である【「美しい」のその先へ。WA!がまち、ふらの】の将来像を踏まえ、「安全」「強靱」「持続」の観点から、水道事業の「3つのWA!」を掲げ、この10年間で取り組むべき方をまとめたものです。

既に策定済みの「水道事業経営戦略」「簡易水道事業経営戦略」との整合を図ることで経営環境の変化に対応し、さらに、社会経済情勢等を踏まえ、常に健全な水道事業を経営するために、計画の評価と見直しを定期的に行います。

③現況と課題

◆水需要の減少

- ・料金収入減少による経営の圧迫に対する支出削減・収入の確保
- ・ダウンサイジングを含めた施設効率性の検証と、大型施設建設に対応するための水需要予測

◆経年化施設の増大

- ・適切な維持管理による施設の長寿命化（補修等により長く使う）
- ・施設の状況を的確に判断し、最適な時期に更新（アセットマネジメント手法）

◆災害リスクの高まり

- ・被害を未然（最小限）に防ぐための施設の耐震化事業

⑤主な実現方策

安全のWA!

- ◆水道システムの安定性の向上
 - ・水源の保全（水位及び濁度監視、クリプト孢子菌対策、井戸への表流水の流入防止など）
 - ・水質管理の徹底（水質検査・監視体制の徹底、事故対応の強化など）
 - ・給水施設の衛生管理（貯水槽水道設置者への指導・助言、水質事故への対応強化）

強靱のWA!

- ◆災害対策の推進
 - ・施設の耐震化（耐震性の優れた管種への更新、施設の耐震化検討）
 - ・漏水、災害対策の整備（マニュアルの拡充、備蓄品・資機材の確保、企業等との連携）

持続のWA!

- ◆安定した施設構築（施設の効率的運用、アセットマネジメント手法による更新）
- ◆水道サービスの向上（住民ニーズに対応した、時代に合ったサービス提供）
- ◆健全な経営の維持（水需要を予測した事業経営、簡易水道の地方公営企業法適用の検討）
- ◆環境への配慮（省エネ・省資源などの取組みを継続、再生可能エネルギー活用の検討）
- ◆人材の育成と継承（水道技術の向上、企業会計に精通した職員の育成）
- ◆連携と社会貢献（沿線市町や研究機関・教育機関等との連携強化、社会貢献事業の促進、小規模水道事業者への支援）

②富良野市水道事業等の概要

富良野市の水道事業は、市街地を中心とする上水道事業のほか、6つの簡易水道事業を行っています。

- ・上水道（深井戸・浅井戸：滅菌のみ）
- ・富丘地区簡易水道（湧水：滅菌のみ）
- ・東山市街地区簡易水道（表流水・浅井戸：急速ろ過）
- ・島の下地区簡易水道（表流水：急速ろ過）
- ・山部市街地区簡易水道（深井戸：滅菌のみ）
- ・学田地区簡易水道（深井戸：滅菌のみ）
- ・布部市街地区簡易水道（深井戸：滅菌のみ）

その他の区域は、地域等が管理運営する飲料水供給施設や専用水道等となります。

④基本理念と基本目標

事業運営の基本理念

地域とともに未来へつなぐ 水のWA!

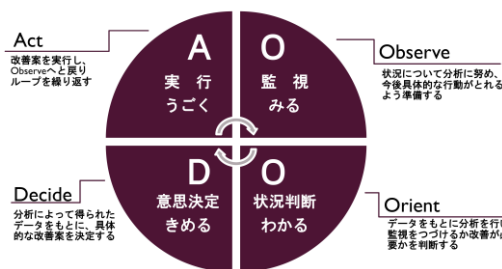
3つの基本目標

- （安全のWA!）いつでも安心して飲める、安全で信頼される水道
- （強靱のWA!）災害に強く、たくましい水道
- （持続のWA!）いつまでも皆様の近くにありつづける水道



⑥進行管理

本ビジョンの進行管理について、経営環境の変化や状況に応じて迅速に意思決定するOODA（ウーダ）ループにて推進し、常に健全な水道事業の経営をめざします。



（図）OODA（ウーダ）ループの概念図

OODAを速く回すことで、行動修正を素早く行うことが可能。



富良野市水道ビジョン（案）概要版

令和3年〇月

富良野市建設水道部上下水道課